

やなせがわ



志木市民体育祭(10/11)の関連記事は5~6面に掲載

今号の広報題字は、10月の市民体育祭で初お披露目をした横断幕のデザインを臨時に採用しました。8月に町内会員の皆さんに投票いただき、3案の中から選ばれました。花紺の地に白く抜いた字は、柳瀬川の鯉と土手の桜吹雪をあしらったデザインに映え、他の町内からも羨望の声があがっていました。

郵政や

おんねんだけの亀の声

政界は相変わらずごたごた続き、もつとしっかりやってもらいたい今日この頃である。

さて話は本題で、先日の町内



8班 田村友一



町内会・秋の旅行(白樺湖)に参加して

旅行は、去る11月8日から1泊2日の予定で行われた。

早朝7時、一行13名は3台の自家用車に分乗して一路信州へと出発。幸いにしてお天気に恵まれ、渋滞もなく、佐久ICを出て一路野辺山へ。

途中の山々は今まさに紅葉の真つ盛り。色とりどりの中にひととき目立つ松の緑、その美しさはいやが上にも旅の楽しさを盛り上げてくれた。

やがて高原へ。そこには巨大な石碑に「野辺山高原日本鉄道最高地点、標高1,375米」とある。一行はそれを見上げて記念撮影(次ページ)。次の予定地の野辺山宇宙観測天文台へと車を進める。ここには高原とは思えぬ広大な敷地と数々の観測施設があり、物珍しく見学し、次の予定地清里へ。そこには牧場があり数頭の牛

がのんびりと草を食み、上目使いに私たちを迎えてくれた。一行はここで昼食をとり、刻々と変化する山々の紅葉を見ながら下界へ降りる。



早速温泉に入り、心地よい汗を流す。しばらくしてお楽しみのお貸し切りの宴会場へと足を運ぶ。宴会では乾杯のあと、杯を重ねてカラオケや踊りまで飛び出して最高潮に達し、楽しいひとときを過ごした。

翌朝は露天の朝湯で昨夜の呑み疲れをいやす。
秋深し

蓼科山を眺めつつ
露天の朝湯 心行くまで

間もなくすると眼下に白樺湖が見えてきた。その周辺には白樺の群生があり、木々の間からチラチラ見える紺碧の湖がなんとも美しい。思わず♪しらかばア・・・と声を張り上げ、楽しさ最高、やがて白樺湖のほとり蓼科山を背にした今宵の宿、ホテル景陽、に到着。

白樺湖を一望する高原のホテルから、さあ出発



1万2千年にわたって泥炭層を堆積し続けている八島ヶ原湿原

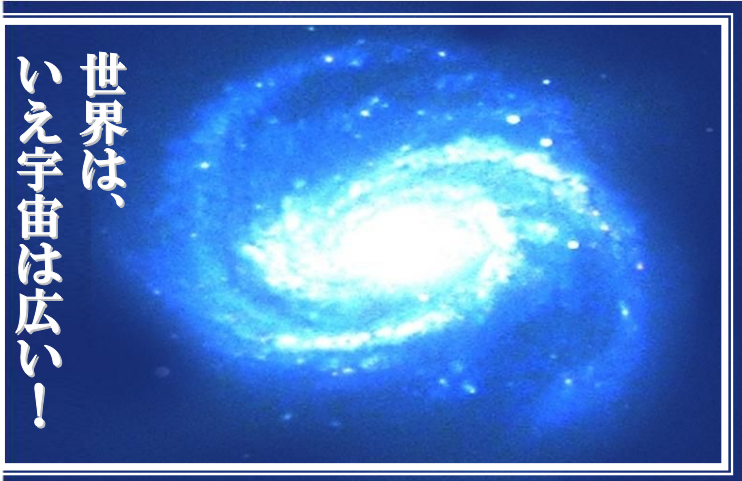
お土産を手に
帰路につく。
17時に無
事帰宅、ホッ
ト一息ついて
この二日間を
振り返る。

広大な高原と紅葉の素晴らしさ・イヤー、山は実に美しい。只々感動、旅の醍醐味を存分に味わい、心に残る楽しい旅でした。

最後にこの旅を企画した方々、そして乗用車を提供して運転してくださいました。そして、本当にありがとうございました。

朝食後、9時に宿を出発し、ビーナスラインを車山・霧ヶ峰高原・八島ヶ原湿原へ。いずれも高原にこんなに広く美しい所が：とただ感動するのみ。
途中、美ヶ原で昼食をとり、





世界は、
いえ宇宙は広い！

7班 奥村 隆重

今回の白樺湖旅行では、最初に「国立天文台 野辺山」を見学しました。

ここには「電波による観測を行う宇宙電波観測所」と「太陽電波観測所」が置かれているとのことでした。天体とか宇宙の観測といえど、私など「天体望遠鏡」でと思う程度でしたが、ここでは目に見えない「電波で宇宙を見る」というのです。

野辺山高原は標高1,350mで水蒸気量が少なく、周りを山に囲まれた平坦な地形であることが宇宙や太陽の電波の観測に向いているのだそうです。また、寒冷地でありながら雪が少ない土地という特性も、これらの施設には最適ということでした。

太陽専門の電波観測用として、なんと84台ものパラボラ型アンテナが並んだ景色(左写真)は圧巻でした。また、大きいのは直径が10mもあるアンテナなど、広大な敷地に大小さまざまな機器や装



置が無数に置かれた様は、まるで映画か夢の世界のようでした。

これらの機器や装置を使い、ここでは太陽・星・銀河など、いろいろな天体からの電波を観測して、天体の姿や宇宙そのものを研究しているのです。時間の関係で細かい説明を聞くことはできませんでしたが、童心に帰って夢がふくらんだひとときでした。

ここで、今回仕入れた知識を披露しましょう。

銀河や恒星など、天体間の距離を表すのには、ふつうのkmを使っているとはそれこそ「天文学的」数字になつてしまいます。そこでこの世界では「光年」という単位が使われます。1光年とは、光が真空中を1年(365・25日)の間に通過する距離のことで、ふつうにkmで示せば、9兆4,600億kmというとんでもない数字になります。ちなみに、光の速さは1秒間に地球を7周半しますが、その光でも太陽から地球に届くには8.3分かかるそうです。

天文学の資料に拠れば、私たちの地球を従えている太陽が含ま



る銀河系は円盤状で、その直径は10万光年、厚みは円盤中央部で1.5万光年、周辺部で1,000光年くらいといえます。太陽は、その中で銀河系の中心から2.8万光年の距離にあつて、銀河系全体から見れば、ごくささやかな存在のようです。

宇宙にはそんな銀河系が無数にあるというから驚きです。冬は夜空が美しい季節です。電波望遠鏡はなくとも、果てしない空のあなたに思いをはせるのも楽しいかもしれません。

☆☆

納涼大会によせて

柳瀬川町内会・会長 竹前 栄二

8月29日、空模様を心配しながらも、今回で第2回目の納涼大会が開催されました。



68名もの参加者で盛り上がりました

前回の大会は不慣れでもあり、「焼きそば・焼肉が時間内に終わらなかつた」「1会場だけに宴席を設けたため子どもが手持

ち無沙汰になった」「身内だけの『イベント』だったために緊張感に欠けていた」など、いくつかの反省点がありました。よその町内会の納涼大会に出席させていただいたところ、どこも来賓を招待し、そのことが担当役員にも「外部の方々が出席する」という良い意味での緊張感を与えていると感じました。

そこで今回は、市長・議長・連合会長・館地区内の町内会長など12名の皆さまに招待状を出しました。結果、市長はじめ11名の方が出席してくださいました。来賓の方々に失礼のないように、役員以外の方に案内



手づくりです！

へへ、市長さんとツーショット！！

係をお願いし、子ども会には手作りの胸花を付けてもらう役を担当してもらいました。

また、参加者が68名と前回の倍近くになったため、会場を2カ所としてテントを設営、子ども会専用会場としました。焼きそば・焼肉を時間内に完了できるか非常に心配でしたが、持ち場の担当者のすばらしい連携プレーのおかげで時間前に完了することができました。



たくさん花火をやりました

来賓の方々との懇談も、顧問や小島氏に接待していただいたお陰で長時間飽きることなく懇談でき、意外な人が他町内会長と繋がりがあることがわかった

りして、それぞれ大いに話が弾みました。来賓の方からは「まとまりのよい町内会だ」とお褒めの言葉をいただきました。

納涼大会も半ばごろ、子どもたちが花火に興じる姿が印象的でした。子どもと一緒に家族ぐるみで参加された方も多く、それが参加者増につながったのではないかと思います。

まだ2回目の納涼大会ですが、これからも全会員が参加し楽しめるイベントにして行きたいと思えます。

役員の方々はじめお手伝いくださった皆さま、大変ありがとうございました。

☆☆



たくさんご飯を食べました

子ども会が発足

ここ数年途絶えていた柳瀬川町内会・子ども会が、新たにスタートしました。

8月22日、町内会館で発足式があり、アドバイザー・伊藤善信さん（3班）に見守られ、子どもたちがこの会を自主的に運営しました。

1歳から15歳の23名の会員の中から、会長・白澤里枝さん、副会長・内城有希菜さんが選ばれ、今後は土曜午後の「みんなで遊ぼう」や、その準備の水曜午後の集まりが主な活動になります。みなさんの暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

「みんなの階段」と子供たち

（子ども会発足までのいきさつ）

3班 伊藤 善信

昨年の6月、倉田さんが作られた柳瀬川土手の階段の修繕をしていると、子供たちが「やらせて！」と声を掛けて

きました。やるがままに手伝ってもらっていると、「楽しいね」と言いながら、女の子が多いのに服の汚れも気にしないで、鉄の棒やシャベルなどで懸命に固い土を掘りおこし階段にする材木を埋めていきます。一所懸命で良いところがある子供たちだなと感心させられてしまいました。



これが子供たちと親しく話をするきっかけとなり、ひいては柳瀬川子ども会が発足す

るきっかけとなりました。この柳瀬川の土手の階段は自転車も通れるように少し広げ、沢山の人が利用できるようにと子供たちが「みんなの階段」と名付けました。



8月に子ども会が発足し、毎週土曜日・午後3時から「みんなで遊ぼう」を柳瀬川会館で開いています。お家で遊んでいる子供さんは参加してみんなと一緒に遊びませんか。☆☆

体育祭に横断幕デビュー

秋晴れの10月11日、志木市総合グラウンドで好例の市民体育祭が行われました。柳瀬川チームは総勢38名での参加でした。

競技は、例年どおり「ボール引きリレー」のぶっちぎりゴールから始まり、玉入れも久しぶりに勝利しました。



しかし、去年大活躍した小学女子リレーが人数不足で棄権、むかでリレーは男子が大ブレイク、最終種目のスウェーデンリレーは怪我人が出なくてよかったという結果で、総合順位など誰も見ずに帰路に着きました。そんな中でひとり気を吐いたのは、今年新たに制作した横断幕でした。よその町内会の単純な図柄ばかりの中で、鯉と桜吹



雪の図柄はよく目立ち、長沼市長からもお褒めの言葉をいただきました。今まで競技から帰るときに自分たちのテントがわからなくて悲しい思いをしたことが嘘のようでした。

夕方からの「ご苦労さん会」にも多くの方のご参加をいただき、競技の成績などご吹く風で、大いに楽しく盛り上がりまりました。

(編集部) ☆☆

はじめての 民謡流し

4班 竹前 恵美子
今夏、志木市
観光協会主催の
民謡流しに、町
内会として初め
て参加させてい
ただいた。

従来の連合婦人会の参加者が、高齢化とともに頭打ちになっていたため、市としても方向転換のときに来ていたかもしれない。大綱を取り寄せ、説明会に出席。7時半スタート、川口信用金庫前から西町交差点まで、志木音頭と志木踊りを交互に踊る。人数は？「3人ずつ並んで踊るから、6人いれば2列はできるわよ」との先輩の言葉に力を得て、人探しが始まった。回覧に名乗りをあげてくれたのは、ようやく4人。

しかし想定内のことなので、一人ひとり伊藤副会長と説得に駆けずり回る。「その日は都合が悪い」「体力が無い」「浴衣がない」「踊りを覚えられない」「恥ずかしい」etc…。さまざまな理由で断られ続けたが、本番3日

前に加わってくれた人もいて、最終メンバーは子ども4人、大人7人、計11人。いずれも女性ということになった。



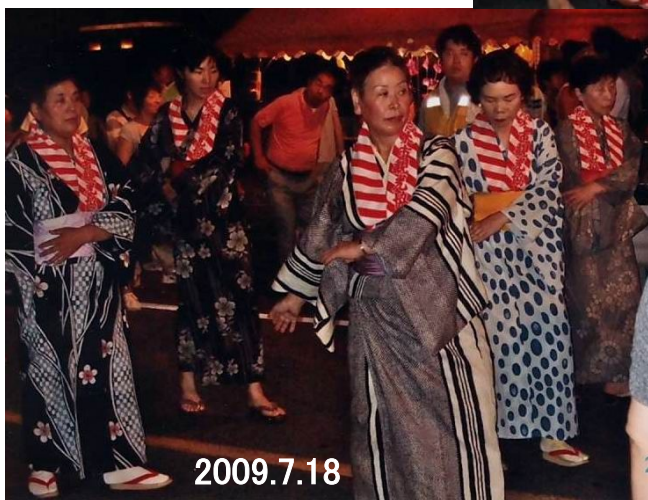
迎えた当日、雨の心配はなかったが、梅雨明けのうだるような蒸し暑さのなか、民謡流しが始まった。薄暮のなか、提灯の灯に照らし出された300人以上の民謡流しはまさに圧巻。おそらく志木始めて以来のこと、観光協会のPRの賜物か。若いメンバーや子どもたちの姿

も目立った。
たった11人の小さな舞踊集団はこぢんまりと、ただひたすらいっしょけんめいに踊っていた。にわか仕込みの踊りだったが、終わったときの達成感は格別。あつという間の1時間だった。

警備に当たってくれた人、踊りを教えてくれた福住町内会の人に感謝。踊りを通じて、人の輪が広がった。

その夜、鐘と太鼓のおはやしの音がいつまでも頭から消えなかった。

☆☆



あいにくの小雨がパラついた
10月25日(日)、秋のクリーン
ン作戦が行われました。



親と子の 市内まるごと クリーン作戦 Part2

参加者数が心配されるコン
ンディションでしたが、開
始時間の9時には、子ど
もさん5人を含み、29
人の方が集まってく
ださいました。

今回は土手や河川敷
を中心の清掃で、みん
なで大物・小物いろい
ろのゴミを集めました。
そのあと、町内会館の
内外の大掃除も行い、
周囲の雑草が除かれて、
会館はすっきりきれい
になりました。

ご参加の皆さん、どう
もありがとうございました。



保健衛生部長 (5班)

尾崎 喜之助

譲ります
&
譲ってください

夏号に引き続き、二度目の「譲
ります」コーナーです。出品してい
ただいた皆さま、ありがとうございます
ました。

左記日程で、前回と同じく出品
物を町内会館に展示することと
いたします。当日、お目当ての品
を手にとって確かめた上で、希望
用紙を投票してください。

希望者が複数の場合は広報部で
抽選をしますが、当選の方へは、
後日こちらからご連絡をいたしま
す。また、会場では飛び入りの出
品や次回掲載の譲渡希望も受け付
けますので、どうぞお気軽に会館
にお出かけください。

《展示日程》

12月20日(日) 15時～18時
12月21日(月) 15時～18時



【出品番号1】
赤ちゃん用
歩行器



【出品番
号2】
マイコ
ンお粥
炊き器・
「粥茶
屋」(ZOJIRUSHI製)



【出品番
号3】
菓子皿セ
ット(大
皿1枚・
銘々皿
5枚セッ

ト、ABS樹脂製、未使用品)



【出品番
号4】
モーニン
グカツ
プ
(KENZO
2個セッ
ト、未使用品)



【出品番号 5】 ビアグラス（陶器製、5個セット、直径7cm・高さ10cm、トレイ付き、未使用品）



【出品番号 6】 盛り鉢（たち吉製、葡萄文様、直径18cm・深さ7cm、木箱入り、未使用品）



【出品番号 7】 洋皿セット（大皿1枚・直径25cm、小皿5枚・直径10cm、未使用品）

《出品者》 1…3班・伊藤(善)、2…3班・池端、4…7…5班・高山 (敬称略)

町内会からの

掲示板の新設

6m道路の突き当たり(①)と会館駐車場の脇(②)に掲示板を新設しました。これはかつて4班・関さんから寄贈されていたもので、今回改修してお目見えとなりました。回覧以外の周知物の掲示もいたしますので、ときどきチェックしてください。また、①の下にはプランターを設置しました。季節の花を植えるつもりですので、みなさん、かわいがってください。

防風衝立の寄贈

花見や体育祭のとき、強い風が吹くと火を使うのに苦労していましたが、このたび1班・中村さんが防風衝立を寄贈してくださいました。これで、知らないうちに火が消えたりする恐れもなく、安心して煮炊きすること

お知らせ

伝言ダイヤル171

もし災害があったとき、固定電話はもちろん、携帯もすぐに通じなくなります。家族の安否を確認する手立てが閉ざされるわけですが、そんなとき、お互いの伝言を入れたり確認したりできるサービスが171です。毎月1日には体験することができ、元日にはご家族でぜひ確かめておきましょう。



編集後記
● 今年も無事暮れようとしている。この冬は暖かいように聞く。

広報も皆さんの暖かい協力を得ることができ、無事発行することができました。ありがとうございました。(K)

● 今年も余すところ3週間弱、昨年暮れに年賀状を書いた日が数カ月前のような気がします。まさに「光陰矢のごとし」です。

年末好例の漢字選びは、「新」の字に決まったようですが、来年は暦の上の新しい年というだけでなく、市民・国民の希望や要望が届く世の中になってほしいものです。そして、町内のどちらさまにも「笑門来福」の新年であってほしいものです。(O)

● 子ども会が復活し、掲示板を2カ所に置くことができ、待望の横断幕も新調できました。小さな町内会なりに、みんなで力を合わせて活動できるのはありがたいことです。来年も、町内にたくさん良いことがありますように。(S)

広報やなせがわ・第30号
柳瀬川町内会 広報部
部長 川口 勲 重規
委員 奥村 隆正
委員 杉原 正規